

『「洗練された人格像」 ～ 「続けていくランタン」 ～』

軽井沢駅経由（画像）で、2023年3月4日、5日 万座温泉日進館の市村雅昭氏の企画の【『諸先人の方々の記念年を祝う』と『樋野先生の誕生日お祝い』】（画像）雪の積もる万座（画像）に wife と参加した。3月4日ロビーで講演『自分のオリジナルで流行をつくれ ～ 先人をたどる意義 ～』の機会が与えられた。3月5日は、『がん哲学外来カフェ』であった。筆者は、その前に別室で、個人面談を行った。最初に、『スルメ症候群数え唄』（作詞・作曲：中野綾子氏）を皆様で熱唱された。今年（2023年）は、

吉田富三(1903-1973) 没後 50 年・生誕 120 年記念

新渡戸稲造 (1862-1933) 没 90 周年

勝海舟 (1823-1899) 生誕 200 周年

矢内原忠雄 (1893-1961) 生誕 130 周年

河井道(1877-1953) 没 70 周年

である。

筆者は、吉田富三の【『医師の3ヶ条』：『医師は生涯書生』&『医師は社会の優越者ではない』&『医業には自己犠牲が伴う』】を語った。また、市村雅昭氏が準備された A4 7 ページに及ぶ資料を皆様で音読しながら、貴重な『河井道の学びの時』となった。筆者は、2021年7月1日、新渡戸稲造から学んだ河井道が、初代学園長である恵泉女学園の9代目理事長を拝命することになった。河井道は自著『わたしのランタン』の終わりに【ここまで、わたしは、私のランタンをかかげてきた。時がくると、それは別の手へとひき継がれて、さらに先へと運ばれていくであろう。私たちの魂の『太陽』が、この世界の面から、うれいと闇の跡をひとひらも残さず追いはらうまで、このランタンが、芯を切りととのえられ、燃え続けていくように、わたしはそれのみを願っている】と記述している。

女子教育に大いなる理解を示した新渡戸稲造（東京女子大学 初代学長）が、援護した三人【河井道（恵泉女学園 創立者）、津田梅子（1864—1929；女子英學塾 創立者）、安井てつ（1870-1945；東京女子大学 第2代学長）】に共通するのは『洗練された自尊心の人格像』であると考え



